

診療科研修コース

診療科研修名【泌尿器科コース】

1. 診療科(専門領域)
泌尿器科
2. コースの概要
外科系基礎プログラムと泌尿器科プログラム(基礎領域)を終了し、さらに専門的に泌尿器科疾患に対する研修を希望する者には2年間の専門領域の研修も可能
3. 取得資格
3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医()
5年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医()
4. 長期目標
 - ・高齢患者とのコミュニケーションが取れるようになる
 - ・泌尿器科疾患における的確な診断計画の立案および基本的な検査の実施と読影(内視鏡技術の修得)
 - ・泌尿器科疾患における的確な治療計画の立案と実施
 - ・泌尿器科領域における種々の化学療法の立案と実施
 - ・泌尿器科疾患の術前術後の的確な管理
 - ・内視鏡的処置および泌尿器科的処置(経皮的腎嚢胞穿刺・経皮的腎瘻造設等)を確実に実施できる
 - ・各種泌尿器科疾患の理解を深めるための自己あるいはグループ学習に取り組む
 - ・経尿道的手術(TUR-P・TUR-Bt)の理解と安全な実施(レーザー手術含む)
 - ・基本的な開腹手術の理解と安全な実施
 - ・腹腔鏡下手術の研修および助手としての手術参加
 - ・日本泌尿器科学会、各種研究会において積極的に症例報告の発表および論文報告を行う
 - ・臨床研究および基礎研究への積極的参加
 - ・日本泌尿器科学会専門医の取得
5. 取得手技
 - ・患者の全体像を的確に捉え、適切な診断・治療計画を作成
 - ・泌尿器科的検査(レントゲン検査および内視鏡的検査)の修得
 - ・泌尿器科的処置(内視鏡的処置および経皮的処置)の修得
 - ・週2回、初診および再来患者の診察を担当する
 - ・入院患者の主治医となり自ら診断治療計画を立案する
 - ・ESWL治療の修得
 - ・小手術からそれ以上の規模の手術の執刀の修得、腹腔鏡手術の理解と研修
 - ・泌尿器がん症例における化学療法の修得
 - ・学会発表および論文報告の修得
6. 研修期間
5年間
7. 募集人数
2名

8. 前年度診療科の実績と目標症例数

主要疾患	症例数（年間）	目標症例数（1年間）
腎がん	11	3
腎盂尿管腫瘍	8	2
膀胱がん	68	20
前立腺がん	120	20
前立腺肥大症	23	10
腎結石	30	5
尿管結石	30	10
膀胱結石	12	5

手術	件数（年間）	目標件数（1年間）
単純腎摘除術	1	1
根治的腎摘除術	8	2
腎部分切除術	3	1
腎尿管全摘除術	8	1
PNL	4	1
膀胱全摘除・尿路変更術	5	2
前立腺全摘除術	15	3
TUR-P	23	10
TUR-Bt	63	20
高位精巣摘除術	5	1
ESWL	63	20

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 2名、非常勤 1名

診療科研修の指導にあたる医師 2名

主として研修指導にあたる医師の氏名

北川 道夫

〃

診療科経験年数

37年

10. コンセプト

- ・高齢者が主たる対象患者であり、泌尿器科疾患だけでなく諸々の合併症を抱えた人間として全体像を捉えられる臨床医を育成する
- ・医療の質を高める臨床研究に積極的に参加する
- ・患者を中心として、各科、コメディカル等との協調性を失わない診断・治療計画を持ちうる医師像を目標とする

11. 一般目標

- ・泌尿器科疾患における的確な診断・治療計画の立案と実施
- ・泌尿器科疾患の術前術後の適切な管理の習得
- ・研究の基本的な方法などの習得

1 2 . 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能 不可

施設外との交流研修 可能 不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

1 3 . 共通領域研修について

- ・ 医療安全研修会の開催（年 4 回）
- ・ がん診療アップデート（地域がん診療拠点病院としての研修）（年 2 回）